

飲料水などの備蓄について

災害時には、一人1日最低3ℓの飲料水が必要です。各家庭でも家族の人数3日分を目安に飲料水を確保しましょう。また、トイレなどに使用する生活用水も必要になりますので、お風呂の残り湯などを生活用水として確保しましょう。

【水道水の備蓄方法】

- 1 密閉できる容器を用意します**
持ち運びをする場合は10ℓ程度の容器が適当です
- 2 手をよく洗います**
手にはたくさんの細菌がついているので、きれいに洗ってから作業をしましょう
- 3 容器を洗浄します**
台所用中性洗剤などで洗い、水道水で洗い流してください
- 4 水道水を容器の口いっぱいまで入れ、空気が容器の中に残らないようにフタをしっかりと閉めます**
空気が入っていると空気中の細菌で汚染されるおそれがあります
- 5 直射日光の当たらない涼しい場所で保管します**
温度が低く保管量が多いほど長持ちしますが、保存期間は3日間を目安にしてください

注 意

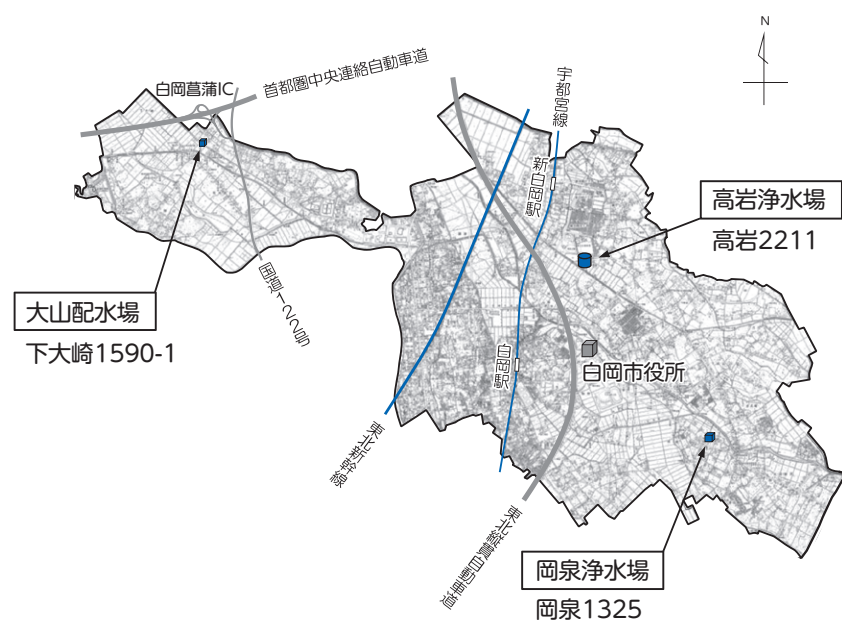
- ※ 保存する水は、水道水をそのまま入れてください。
煮沸した水や浄水器を通した水は、塩素による殺菌効果が無くなりますので、毎日汲み替える必要があります。
- ※ 備蓄した水を飲用するときは、直接口をつけず、コップなどに注いでから飲用してください。
- ※ 保存期間が過ぎた水は、洗濯などの生活用水として使用してください。
- ※ お風呂の水をためておく場合は、小さなお子さんの事故にじゅうぶん注意してください。
- ※ 下水道施設の使用が制限されている場合は、公共下水道及び農業集落排水に接続している水洗トイレの使用は控えてください。

災害時の給水拠点について

市では、災害などにより大規模な断水が発生した場合の給水拠点として、**高岩浄水場、岡泉浄水場及び大山配水場を指定**しています。給水拠点では給水袋を備蓄していますが、数に限りがありますので、ポリタンクなどの容器を持参してください。

また、指定避難所が開設された場合は、状況により、応急給水装置（約1000リットルの水が溜められるタンク）を設置し、車載用給水タンク車などで給水、補水を行います。給水拠点の開設などについては市防災行政無線、市公式ホームページ及び広報車などでお知らせします（断水の状況などにより開設しない場合があります。）。

なお、災害発生直後は、開設までに時間がかかることが想定されますので、日頃から水の備蓄を心がけてください。



※岡泉浄水場及び大山配水場は駐車場がありません。また、高岩浄水場は、施設の復旧作業に当たる工事車両等の駐車スペースとして使用するため、給水拠点を利用するかたの駐車場の確保が困難になることが予想されますので、お車での来場はお控えください。

問合せ

水道課管理担当 ☎ 0480 (92) 1645

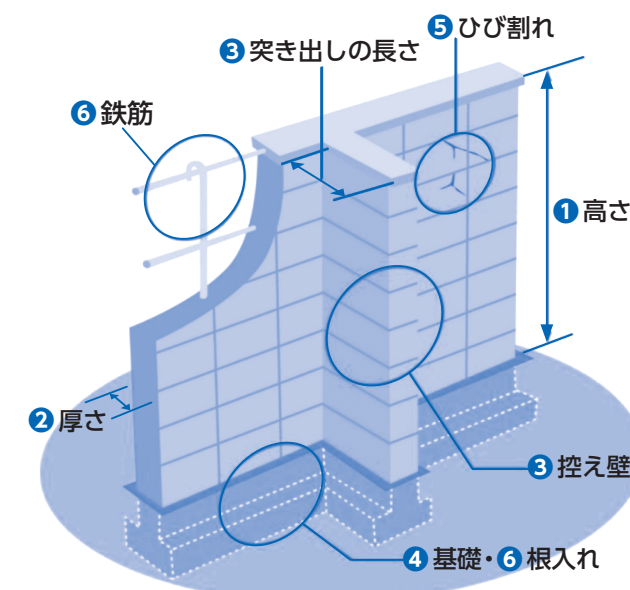
地震への備えはできていますか

9月1日は「防災の日（関東大震災が起きた日）」です。

平成30年6月に大阪府北部地震が発生し、ブロック塀などの倒壊や家具の転倒により痛ましい事故が発生しました。地震はいつ発生するかわかりません。事前の備えによって、被害を減らすことができます。

事前の備え	対策方法
家具転倒の防止対策	家具を天井突っ張り棒や壁にねじで固定しましょう。
ガラスの飛散防止対策	ガラスが割れて負傷しないようにガラスに飛散防止フィルムを貼りましょう。
屋外看板の点検	看板が落下しないように定期的な点検を行い、劣化した部品は交換しましょう。
住宅や塀の耐震化	耐震診断で倒壊するおそれがあると判断された住宅や塀の耐震改修を行いましょう。（市では、昭和56年以前に建築された住宅の耐震化費用及び耐震シェルター設置費用の補助を行っています。）

<ブロック塀の点検のチェックポイント>

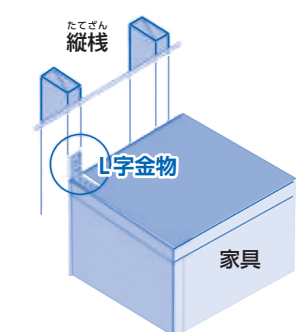


出典 国土交通省『ブロック塀の点検のチェックポイント』一部改

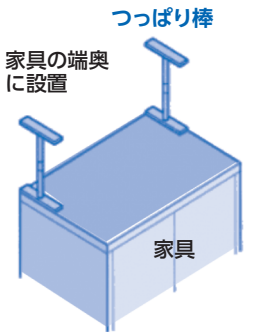
- ☐ **① 塀は高すぎないか**
・塀の高さは地盤から2.2m 以下か。
- ☐ **② 塀の厚さは十分か**
・塀の厚さは10cm 以上か。
（塀の高さが2m 超2.2m 以下の場合は15cm 以上）
- ☐ **③ (塀の高さが1.2m 超の場合) 控え壁はあるか**
・塀の長さ3.4m 以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- ☐ **④ 基礎があるか**
・コンクリートの基礎があるか。
- ☐ **⑤ 塀は健全か**
・塀に傾き、ひび割れはないか。
- ☐ **⑥ 塀に鉄筋は入っているか**
・塀の中に直径9mm 以上の鉄筋が、縦横とも80cm 間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
・(塀の高さが1.2m 超の場合) 基礎の根入れ深さは30cm 以上か。

<専門家に相談しましょう>

<家具転倒の防止策例>

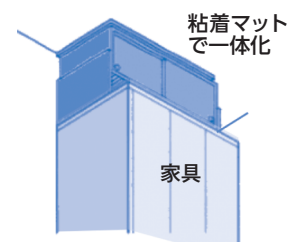


「**L字金物**」は、壁裏の縦筋に木ねじで取り付けてください。



「**つっぱり棒**」は、手軽にできる転倒対策ですが、天井の補強などが必要です。

すきま家具またはダンボール箱 天井



「**すきま家具**」や「**ダンボール箱**」で家具と天井の隙間を埋めることも、転倒対策になります。



詳しくは、消防庁HP「消防庁地震家具転倒」
(<https://www.fdma.go.jp/publication/database/kagu/post1.html>)
をご覧ください。



問合せ

☎0480(92)1111
建築課建築担当 内線234
安心安全課防災担当 内線372・373